

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2024年 5 月 24 日	
高知県知事 殿	
	提出者 住 所 高知県南国市岡豊町八幡411番地1 氏 名 明星産商株式会社 代表取締役 森 彰良 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号：088-804-8111
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	明星産商株式会社 本社・高知工場
事業場の所在地	高知県南国市岡豊町八幡411番地1
計画期間	2024年4月1日 から 2025年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	その他の化粧品・化粧用調製品製造業
②事業の規模	前期売上実績：15,650百万円
③従業員数	305人(2024年4月1日時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①工場全般（生産）→『廃プラスチック』→処理業者へ委託 ②工場排水（生産）→”排水処理設備”→『汚泥』→処理業者へ委託 ③工場全般（生産）→『廃油』→処理業者へ委託 ④工場全般（生産）→『ガラスくず』→処理業者へ委託

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物処理統括責任者 : 工場長
 産業廃棄物管理責任者 : 総務部長
 産業廃棄物担当者 : 生産技術部設備課・生産部生産管理課

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	木くず ^a	ガラスくず
	排出量	857.8 t	32.2 t	166.2 t	16.3 t	7.2 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃電池類			
	排出量	0.6 t	0.5 t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） 上記、産業廃棄物集計外の以下、5点を分別し回収業者へ売却 （ダンボール・ストレッチフィルム・シュレッター紙・PPバンド・金属くず）					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	木くず ^a	ガラスくず
	排出量	900.0 t	40.0 t	140.0 t	15.0 t	2.0 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃電池類			
	排出量	1.0 t	0.4 t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・上記5点の分別、回収業者への売却継続 ・製品ロス削減への取り組み ・残資材廃棄削減への取り組み					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ダンボール類・ビニールラップ類・廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・汚泥・廃油
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ダンボール類・ビニールラップ類・廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・汚泥・廃油 の継続分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	ガラスくず
	全 処 理 委 託 量	857.8 t	32.2 t	166.2 t	7.2 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	32.2 t	166.2 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	857.8 t	t	t	7.2 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	以下、5点を分別し回収業者へ売却 (ダンボール・ストレッチフィルム・シュレッダー紙・PPバンド・ 金属くず)				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥	廃油	ガラスくず
	全 処 理 委 託 量	900.0 t	40.0 t	140.0 t	2.0 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	40.0 t	140.0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	900 t	t	t	2.0 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃電池類		
	全 処 理 委 託 量	1.0 t	0.4 t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.0 t	0.4 t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 下記5点の分別、回収業者への売却継続 (ダンボール・ストレッチフィルム・シュレッダー紙・PPバンド・ 金属くず) ・ 製品ロス削減への取り組み ・ 残資材廃棄削減への取り組み				
	※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。